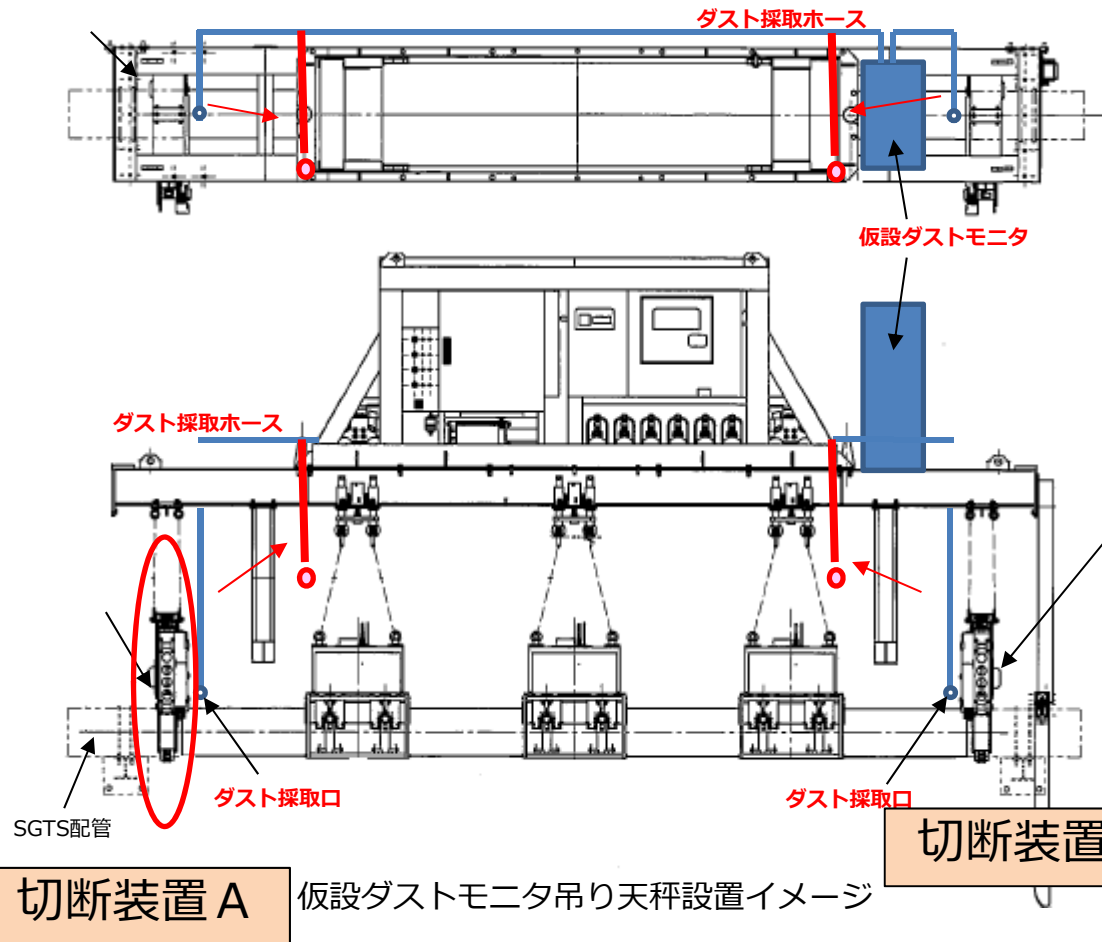


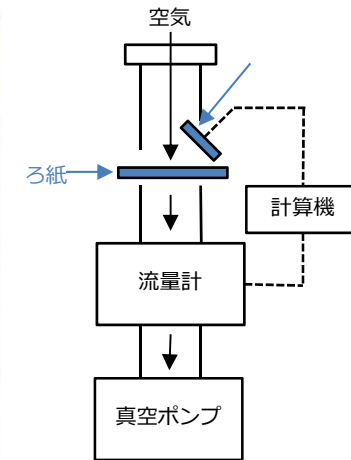
- 1・2号機非常用ガス処理系配管（以下、SGTS配管）については、今後予定している1・2号機廃棄物処理建屋の雨水対策工事、ならびに1号機燃料取り出し用大型カバーの設置工事に干渉することから、工事干渉範囲のSGTS配管の一部を撤去する計画としています。
- SGTS配管の切断にあたっては、事前にダスト飛散防対策として、切断箇所に発泡ウレタンを注入する等、これまでSGTS配管撤去のための準備を進め、2月24日より切断作業を開始する予定でしたが、強風の影響等により切断作業を中止していました。
- その後、風が弱まり作業への影響がないことが確認できたことから、昨日（3/1）午後0時00分からSGTS配管切断作業を開始しました。
- 切断作業開始後、同日午後0時15分に配管切断装置上部に設置している仮設ダストモニタにおいて、放射能ダスト濃度上昇警報が発生したことから、手順書に基づき作業を一時中断しました。その後、当該ダストモニタの指示値が警報設定値を下回ったことから、午後2時01分、切断作業を再開するにあたり、配管切断のため装置の動作確認をしたところ、配管を切断するためのワイヤーガイドからワイヤーが外れたことから、再度作業を中断しました。今後、外れたワイヤーの設置作業を行い、切断作業時は周辺ダストモニタを連続監視しながら、ダスト飛散抑制のため、ゆっくりと切断を行う、サンプリング位置をダストの飛散を確認する場所へ変更する対策を行います。対策準備が整い次第、切断作業を再開する予定です。
- なお、SGTS配管切断時において、当該作業エリア近傍にある既設ダストモニタならびに、作業範囲に設置した仮設ダストモニタの指示値に有意な変動はなく、周辺環境や作業員への影響がないことを確認しております。引き続き安全最優先で作業を進めてまいります。

-
- 4:50 切断準備開始（クレーン日常点検、各装置動作確認）
 - 7:15 切断装置吊上げ開始
 - 11:42 撤去対象配管把持完了
 - 12:00 切断開始
 - 12:15 仮設用ダストモニタで警報発生したことから切断作業を中断
 - 13:16 連続ダストモニタ警報設定値を下回ったことを確認したこと
から、作業再開準備開始
 - 14:01 作業再開にあたり、切断装置の動作確認を実施したところ、
ワイヤーガイドからワイヤーが外れたことを確認した。
 - 14:17 配管把持開放完了
 - 15:25 配管把持装置吊降ろし完了

【参考】 仮設ダストモニタ



仮設ダストモニタ



測定原理の概要図

測定原理

- 真空ポンプで吸引した空気中のダストをろ紙で集塵する。
- 集塵しているろ紙をシリコン半導体検出器にて放射エネルギーを測定する。
- 流量計で測定した空気流量で放射エネルギーを割って、濃度を算出する。

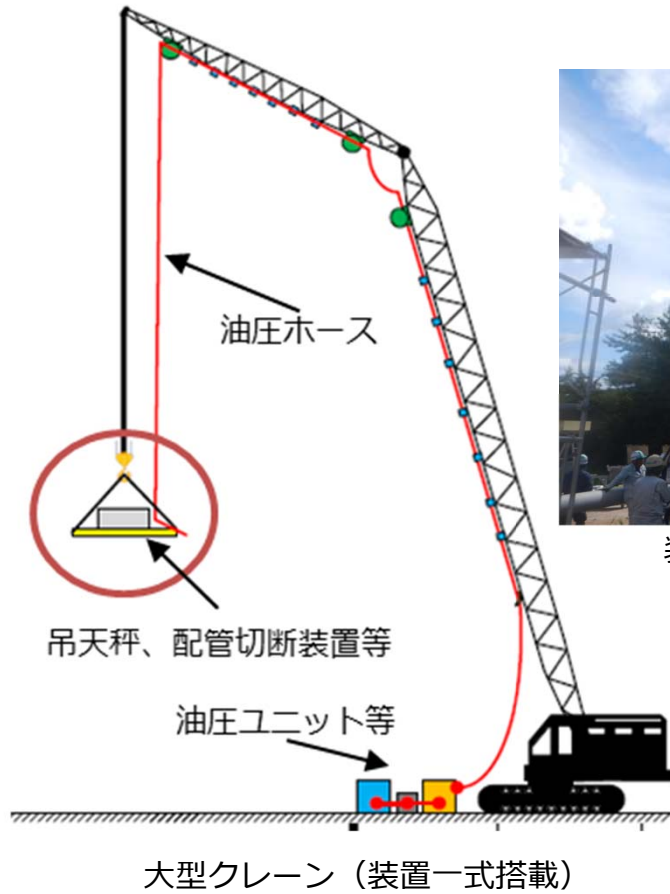
測定を終え交換したろ紙は工事完了まで全数保管し必要に応じて分析を行う。

切断装置 A 仮設ダストモニタ吊り天秤設置イメージ

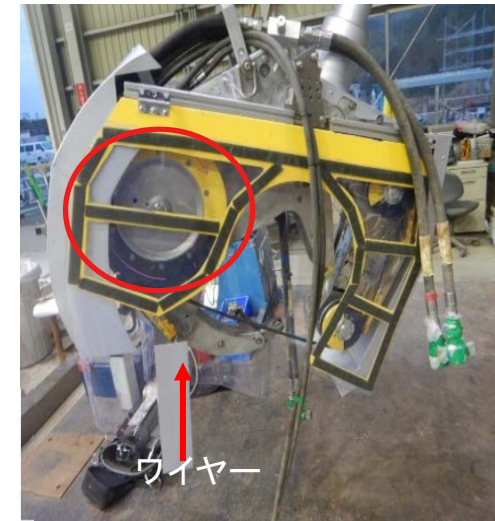
切断装置 B

吊り天秤に仮設ダストモニタを設置し、配管切断時に切断箇所近傍のダストを集塵して放射性ダスト濃度の監視を行う。なお、配管切断作業中は監視カメラにて仮設ダストモニタの表示部と発報ランプを遠隔操作室にて随時監視する。監視は管理基準値を基に行い、警報設定値に至らないように作業負荷の加減調整を行う。

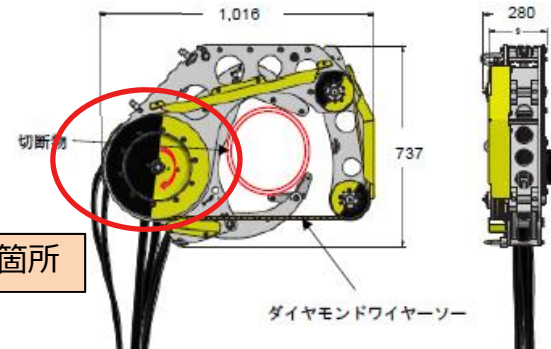
【参考】作業概要（配管切断）



装置一式（吊り天秤、切断装置等）



切断装置



ワイヤー外れ箇所

ダイヤモンドワイヤーソー

切断装置詳細

【参考】 3月1日切断位置イメージ

➤ 配管切断計画位置

